

雨天続きの週末 久しぶりの頂上は伏美岳（1792m）

2013（平成 25）年 9 月 1 5 日

C L 山岸、S L 藤木、S L 澤田、写真相馬、体操長
沼、食糧 S L 古屋、食糧 L 西田、気象・会計渡邊

ここ数週間の週末は雨天続きで主な山行は中止となっている。伏美岳とピパイロ岳を予定している山行も天気予報からすると危うい。



宿泊する伏美岳避難小屋は2階建てで着いて2階を見てみるとすでに先客がいてシュラフが敷いてあった。



今日のシェフは西田さん。ポテトサラダ付きと牛丼でこれが絶品だった。

翌日の早朝行動を考えて、午後4時前から天気祭りを始めた。

盛り上がっているところに2階の住人が戻ってきてその顔を見ると、当会のOさんだ。

Mの風という山岳会にも所属している彼らのパーティは女性1、男性2の3人で小屋近くの沢から伏美岳登山道にあがり頂上を踏んできたという。再会を祝して宴会が続いた。



遅れて小屋に入ってきたのは札幌のHクラブに所属する2人も宴会に合流し、午後8時にお開きになった。



翌朝4時に起床し、登山開始は5時5分。まだ外は暗かった。





1時間弱ごとに休憩を繰り返し、標高 1200 m付近から紅葉が始まっていた。



合目の標識は奇数ごとのようだ。



脚力が揃っている 8 人は快調に上に進み、休憩時間を含み 3 時間 5 分で頂上を踏んだ。

頂上にいた北大山スキー部の 4 人に記念撮影をお願いして集合写真に納まった。私たち 8 人は疲れはほとんどみせていない。頂上から見る展望は雲で覆われ良くなく、早々に引

き上げることにした。



下山間際から雨が降り、雨具を着込んで登りと同じ時間をかけて登山口へ着いた。



芽室町の新嵐山荘で汗を流し、日勝峠を経由し、苫小牧に住む相馬さんを送り、無事帰宅した。次回は晴れた日にピパイロまで足を延ばしたい。リーダーや調理担当、ドライバー、2日間ありがとうございました。

(記録 澤田)